

釈尊の言葉

無益を語らず、心の静まる言葉を

岡山願海 師
本願寺派総合研究所所長

無益な語句を

千たび語るよりも、
聞いて心の静まる
有益な語句を
ひとつ聞くほうが、
はるかに優れている。

(ダンマパダー○○偈)

この偈げを読んで、ドキッと
感じませんか？ 私たちは、
日常生活の中で、あるいは仕
事上で、多大にさまざまな言
葉のやり取りをしています。
そういうなかで、ほんとに心
に響く言葉が、どれほどきこ
えてくるでしょうか？ あるい
は、今日一日、心を込めた言
葉をどれほど語れたでしょ
うか？
仏教には、五戒ごがいという、在
家信者が守るべき五つのこと
がらがあります。そのなかに、
不妄語戒ふまごごというものがあ
ります。これは、単に嘘をつい

はいけないということだけで
なく、無意味で無益なことを
語るなかれという意味も含ま
れているのでしよう。また、
身口意しんくういの三業さんごうという考えがあ
ります。業ごうというのは身体的
な行為だけではなく、言葉を
使って語ることもまた業、つ
まり心とも関連する習慣性
になるのです。有益な言葉を聞
き、そして心を込めた言葉を
使うことにより、心も透明度
を増してくるということです。
仏教がどれほど言葉を大切に
しているのかが知られます。
さて釈尊しやくそんのことを釈迦牟尼しやくかむに
とも言います。シャカ族の牟
尼むに、牟尼むにとはもともと沈黙を
守る聖人のことを言うのです。
おそらく釈尊は6年間の修行
中、ほぼ沈黙で修行を続けら
れたことでしょう。しかし悟
りを完成された後、釈尊は45
年間にわたり、じつに多くの
人びとのために教えを説き続
けられました。
沈黙を守られたというほん
とうの意味は、無益なことは
語らず、人びとの心が静まる
様な言葉を紡ぎ続けられたと
言うことでしょう。

仏教のお経というのは、そ
ういう釈尊の言葉を伝えるも
のなのです。

本願寺新報 平成28年3月1日号掲載

お知らせ 第25代御門主 伝灯奉告法要団体参拝 募集開始

「教誓寺だより」新年号で
お知らせしました「芝組の団
体参拝」の募集を開始します。
十月六日(木)・七日(金)
の二泊二日で、本山参拝の後、
大津プリンスホテルで一泊し、
彦根の観光をして東京へ戻る
旅行です。
芝組で設定した旅行費用は
五万九千円ですが、教誓寺よ
り一人五千円を「参拝奨励
費」として補助させていただきます
ので、皆様の参加費用
は一人五万四千円となります。
申し込み締め切りは、教誓



寺でとりまとめから芝組に
申し込みますので、期間の猶
予をお寺にいただいで、四月
末日までとさせていただきます。

参拝旅行の要項・申込書は
お寺にありますので、お詣り
の際にお持ちください。



世界文化遺産のご本堂でお勤
めされる法要は、それはすば
らしいものです。境内には、国
宝の白書院や能舞台や唐門、
豊臣秀吉の聚楽第から移築さ
れたと伝えられる日本三名閣
の一つの飛雲閣などがあり、
皆様をご案内したいと思いま
す。個人で参拝されるよりも

良い参拝席でお参りできますし、効率的な見学も出来ます。大変に良い機会ですので、是非とも京都へ皆様とご一緒したいと念願致しております。



本願寺 飛雲閣

住職より

震災から5年

東日本大震災から5年が経ち、テレビで、あの胸がつぶされるような津波の映像が、毎日放映されています。

あの出来事は、私たちにたくさんの方の教訓を与えてくれましたし、備えの大切さも身にしみて感じました。お寺の備蓄計画をしっかりと立てていきたいと考えています。

震災の日に、たくさんの方

が徒歩で帰宅しようとして、幹線道路は溢れかえり、帰宅難民と呼ばれていました。震災のあとで、お寺にお詣りにおいてになった方と話ししたら、教誓寺の近くで途方に暮れていた方もいらっしゃいました。実際に、お寺が大丈夫かどうかは、その時になってみないと判りませんが、近くにて休むところが欲しいときは、どうぞ教誓寺において下さい。御門徒様のために、できる限りの事をいたしたいと思っています。

第25代御門主伝灯奉告法要
親鸞聖人御誕生八五〇年・
立教開宗八百年慶賛法要
宗門総合振興計画
懇志について

「教誓寺だより」新年号でお願いいたしました右記の「懇志」ですが、皆様のご理解のもと、早速にお納めいただき、目標額まであと少しとなりました。これからお納め下さる方もどうぞよろしくお願いいたします。

ます。

左記の「教誓寺維持会費」と同様に、お詣りの際に直接お持ち頂くことも可能です。現在、「御札」の品の準備中です。準備が出来ましたら、「お札状」と引換券を送らせていただきます。

維持(会)費

進納のお願い

教誓寺総代・世話人一同

平成二十八年度の教誓寺「維持費」のご進納をお願いいたします。

詳しくは、同封の別紙「教誓寺維持費(護維持会費)納入のお願い」を参照下さい。

お寺のメールアドレス変更

皆様にお知らせいたしました電子メールアドレスに、不要な告知など大量に無い込むようになりましたので、新しいアドレスを設定いたしました。旧アドレスに皆様からの電子メールが入らなくなったら、旧アドレスを閉鎖します。新アドレス

kyouseiji@js4.so-net.ne.jp

よろしくお願いたします。

彼岸会法要のご案内

3月20日(日)

春分の日

午後2時より
ご都合のつく方は、
時間に合わせて
お参り下さい。

○ご一緒にお経を上げて
お勤めいたしましたしょう

***お彼岸の期間は**

**春分の日の前三日間と
後の三日間の七日間
です。**

3月17日(木)～23日(水)

お詫び

新年号で春の彼岸の時期、春分の日を誤って記載してしまいました。

右の日程が正しいものです。閏年には、日程がずれるのを失念して、カレンダーで確認せずに掲載してしまいました。お詫びして、訂正させていただきます。

浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺
108-0073

東京都港区三田 一―一十一

〇三(三四五)一二九

kyouseiji@js4.so-net.ne.jp